



# サーバのオペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール

---

この章は、次の内容で構成されています。

- [オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール方法, 1 ページ](#)
- [KVM コンソール, 1 ページ](#)
- [PXE インストールサーバ, 4 ページ](#)
- [ホストイメージマッピング, 5 ページ](#)

## オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール方法

E シリーズサーバでは、複数種類のオペレーティングシステムとハイパーバイザがサポートされています。インストールされるプラットフォームに関係なく、次のいずれかのツールを使用してサーバにインストールできます。

- KVM コンソール
- PXE インストールサーバ
- ホストイメージマッピング

## KVM コンソール

KVM コンソールはCIMCからアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウスの直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。サーバに物理的に接続されたCD/DVDドライブまたはフロッピードライブを使用する代わりに、KVM コンソールは仮想メディアを使用します。これは、仮

想 CD/DVD ドライブまたはフロッピー ドライブにマップされる実際のディスク ドライブまたはディスク イメージ ファイルです。次のいずれでも仮想ドライブにマップできます。

- コンピュータ上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- コンピュータ上のディスク イメージ ファイル (ISO または IMG ファイル)
- コンピュータ上の USB フラッシュ ドライブ

KVM コンソールを使用して、サーバにオペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールし、次の作業を行うことができます。

- 起動中に F2 を押して、BIOS セットアップ メニューにアクセスします。
- 起動中に F8 を押して、CIMC 設定ユーティリティにアクセスします。
- 起動中に Ctrl キーと H キーを押して WebBIOS にアクセスし、RAID を設定します。

## KVMコンソールを使用したオペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール

### はじめる前に

- オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール ディスクまたはディスク イメージ ファイルの場所を特定します。



(注) VMware vSphere Hypervisor™ では、カスタマイズされたイメージが必要です。カスタマイズされたイメージをダウンロードするには、「[カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード](#)」を参照してください。

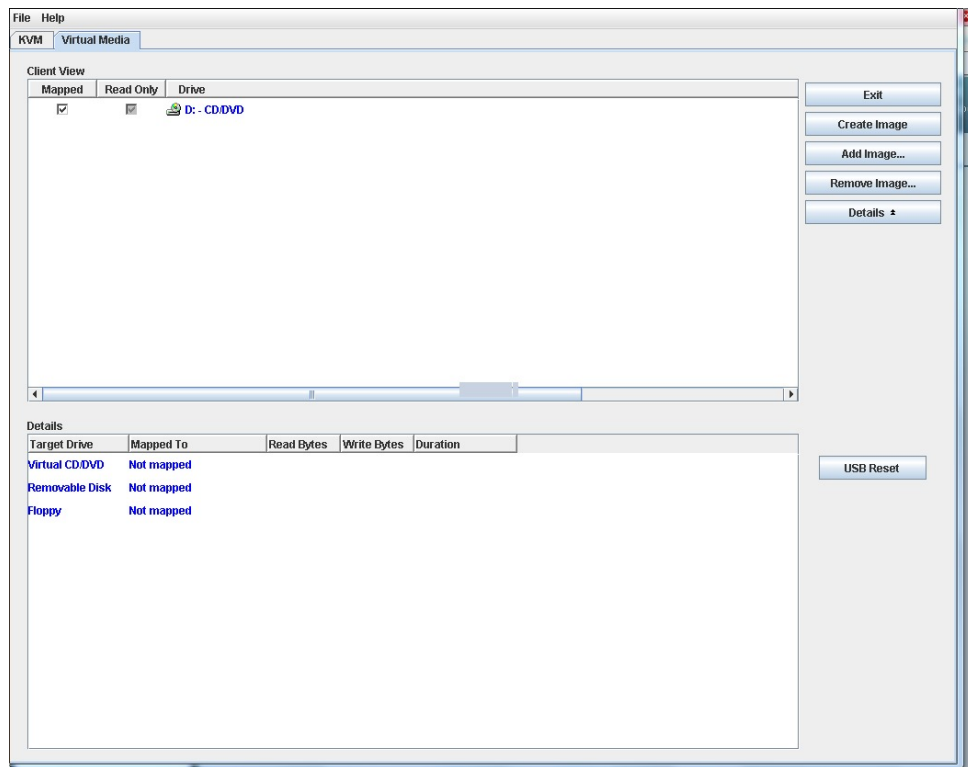
### 手順

- ステップ 1** オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール ディスクを CD/DVD ドライブにロードするか、ディスク イメージ ファイルをコンピュータにコピーします。
- ステップ 2** CIMC が開いていない場合は、CIMC GUI にログインします。
- ステップ 3** [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Server] タブの [Summary] をクリックします。
- ステップ 5** [Actions] 領域から、[Launch KVM Console] をクリックします。

[KVM Console] が別ウィンドウで開きます。

**ステップ 6** KVM コンソールから、[Virtual Media] タブをクリックします。

図 1 :



**ステップ 7** [Virtual Media] タブで、次のいずれかの方法を使用して仮想メディアをマップします。

- オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール ディスクが含まれている CD/DVD ドライブの [Mapped] チェックボックスをオンにします。
- [Add Image] をクリックし、オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール ディスク イメージに移動してこれを選択します。[Open] をクリックしてディスク イメージをマウントし、マウントされたディスク イメージの [Mapped] チェックボックスをオンにします。

(注) インストール プロセスの実行中は、[Virtual Media] タブを開いたままにしておく必要があります。このタブを閉じると、すべての仮想メディアのマップが解除されます。

**ステップ 8** 仮想 CD/DVD ドライブがブート デバイスになるように、ブート順を設定します。ブート順の設定方法については、「[サーバのブート順の設定](#)」を参照してください。

**ステップ 9** サーバをリブートします。

サーバを再起動すると、仮想 CD/DVD ドライブからインストール プロセスが開始します。残りのインストール プロセスについては、インストールしているプラットフォームのインストール ションガイドを参照してください。

**ステップ 10** オペレーティングシステムまたはハイパーバイザをインストールした後にディスク ドライブが表示されない場合は、ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストール手順については、該当するオペレーティング システムまたはハイパーバイザのマニュアルを参照してください。

Microsoft Windows オペレーティング システムでドライバをインストールする手順については、「[Microsoft Windows Server 用のドライバのインストール](#)」を参照してください。

### 次の作業

インストールが完了したら、仮想メディアのブート順を元の設定にリセットします。

## PXE インストール サーバ

Preboot Execution Environment (PXE) インストール サーバを使用すると、クライアントはリモートの場所からオペレーティング システムまたはハイパーバイザをブートおよびインストールできます。この方法を使用するには、PXE 環境が設定されていて、LAN（通常は専用のプロビジョニング LAN）で使用できるようになっている必要があります。さらに、サーバがネットワークからブートするように設定されている必要があります。サーバは、ブートすると、PXE 要求をネットワーク経由で送信します。PXE インストール サーバは、この要求に応答確認し、サーバにオペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールするイベントのシーケンスを開始します。

PXEサーバは、インストールディスク、ディスクイメージ、またはスクリプトを使用して、オペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールできます。また、独自のディスクイメージを使用して、プラットフォーム、追加コンポーネント、またはアプリケーションをインストールすることもできます。



(注) PXEインストールは、多数のサーバにプラットフォームをインストールする場合に効率のよい方法です。ただし、この方法を使用するには PXE 環境をセットアップする必要があることを考えると、他のインストール方法を使用する方が簡単な場合があります。

## PXEインストールサーバを使用したオペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール

### はじめる前に

- VLAN 経由でサーバに到達できることを確認します。



- (注) VMware vSphere Hypervisor™では、カスタマイズされたイメージが必要です。カスタマイズされたイメージをダウンロードするには、「[カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード](#)」を参照してください。

#### 手順

**ステップ 1** ブート順を [PXE] に設定します。

**ステップ 2** サーバをリブートします。

VLAN で PXE インストール サーバを使用できる場合は、サーバが再起動するとインストールプロセスが開始します。通常、PXE インストールは自動化されており、追加のユーザ入力が必要としません。残りのインストールプロセスについては、インストールしているオペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストーレーション ガイドを参照してください。

#### 次の作業

インストールが完了したら、LAN のブート順を元の設定にリセットします。

## ホストイメージマッピング

ホストイメージマッピング機能を使用すると、ホストイメージのダウンロード、マッピング、マッピング解除、または削除を行うことができます。リモート FTP、FTPS、HTTP、または HTTPS サーバから CIMC 内部リポジトリに、Microsoft Windows、Linux、または VMware などのホストイメージをダウンロードし、そのイメージを E シリーズサーバ内の USB コントローラの仮想ドライブにマップします。イメージをマップした後は、イメージをマウントした仮想ドライブが最初のブートデバイスになるようにブート順序を設定してから、サーバをリブートします。ホストイメージのファイル拡張子は必ず .iso になります。

また、ホストイメージマッピング機能により、診断イメージをダウンロードし、マウントできません。診断イメージのファイル拡張子は必ず .diag になります。

## ホストイメージのマッピング

### はじめる前に

- admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。
- 適切なサードパーティからホストイメージファイルを取得します。



- (注) VMware vSphere Hypervisor™ では、カスタマイズされたイメージが必要です。カスタマイズされたイメージをダウンロードするには、「[カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード](#)」を参照してください。

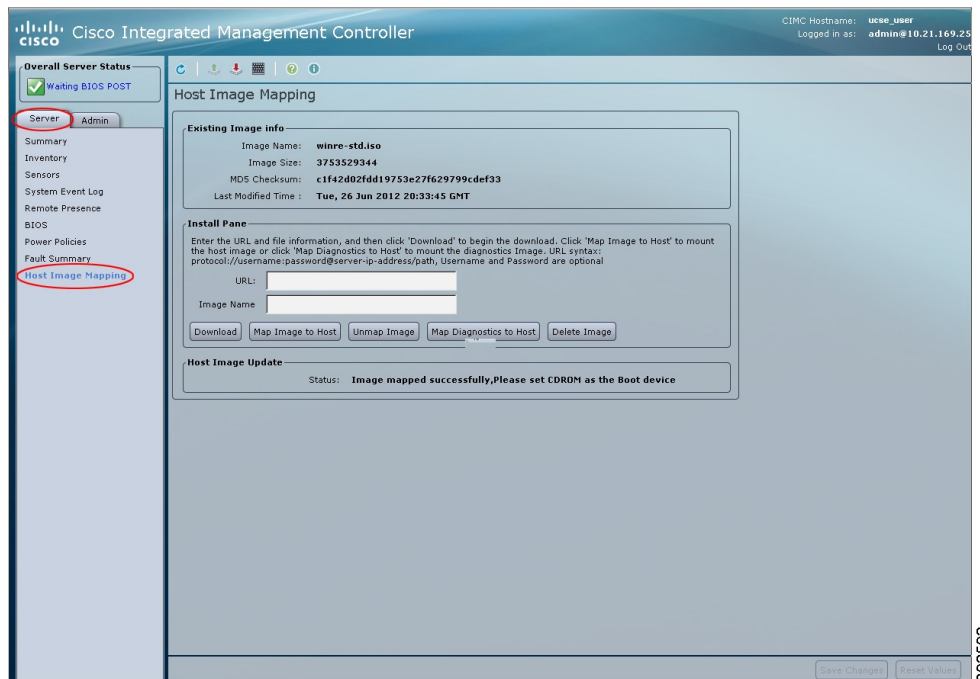


- (注) アップデートがすでに処理中であるときにイメージアップデートを開始すると、どちらのアップデートも失敗します。

## 手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Host Image Mapping] をクリックします。

図 2 : Host Image Mapping



- ステップ 3 [Install Pane] で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[URL] フィールド	<p>イメージが配置されているリモートサーバの URL。</p> <p>リモートサーバでユーザ認証が必要な場合は、リモートサーバのユーザ名とパスワードを URL に追加する必要があります。リモートサーバには、FTP、FTPS、HTTP、または HTTPS サーバを使用できます。</p> <p>URL の構文は次のようになります。  <code>protocol://username:password@server-ip-address/path/filename</code></p>
[Image Name] フィールド	<p>イメージの名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ホストイメージをインストールする場合、そのイメージのファイル拡張子は必ず <code>.iso</code> になります。</li> <li>• 診断イメージをインストールする場合、そのイメージのファイル拡張子は必ず <code>.diag</code> になります。</li> </ul>

- ステップ 4** [Download] をクリックします。  
イメージファイルが、指定した FTP、FTPS、HTTP、または HTTPS サーバから CIMC 内部リポジトリにダウンロードされます。
- ステップ 5** [Map Image to Host] をクリックします。  
イメージが USB コントローラの仮想ドライブにマウントされます。仮想ドライブには、次のいずれかを使用できます。
- HDD : ハードディスク ドライブ
  - FDD : フロッピーディスク ドライブ
  - CDROM : ブート可能 CD-ROM
- ステップ 6** イメージがマウントされている仮想ドライブが最初のブートデバイスになるように、ブート順を設定します。  
ブート順の設定方法については、「[サーバのブート順の設定](#)」を参照してください。
- ヒント** イメージがどの仮想ドライブにマウントされているか確認するには、[Host Image Mapping] ページの [Host Image Update] 領域を参照してください。
- ステップ 7** サーバをリブートします。
- ステップ 8** イメージにアンサーファイルが含まれている場合、オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストールは自動化され、イメージがインストールされます。そうでない場合は、インストールウィザードが表示されます。ウィザードの手順に従って、イメージをインストールします。
- ステップ 9** オペレーティングシステムまたはハイパーバイザをインストールした後にディスクドライブが表示されない場合は、ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストール手順

については、該当するオペレーティング システムまたはハイパーバイザのマニュアルを参照してください。

Microsoft Windows オペレーティング システムでドライバをインストールする手順については、「[Microsoft Windows Server 用のドライバのインストール](#)」を参照してください。

#### 次の作業

- インストールが完了したら、仮想メディアのブート順を元の設定にリセットします。
- ホストイメージのマッピングを解除します。「[ホストイメージのマッピング解除](#)」を参照してください。

## Microsoft Windows Server 用のドライバのインストール



- (注) E シリーズ サーバ オプション 1 (オペレーティング システムやハイパーバイザが事前にインストールされていない E シリーズ サーバ) を購入し、Microsoft Windows Server を自分でインストールした場合は、ドライバをインストールする必要があります。

Microsoft Windows オペレーティング システムでは、3 種類のドライバをインストールする必要があります。

- Windows 2008 R2 用のオンボード ネットワーク ドライバ
- Windows 2008 R2 用の LSI ドライバ (オンボード ハードウェア RAID コントローラ)
- Windows 2008 R2 用の Intel ドライバ

10 ギガビット アドオン カードを購入した場合は、Windows 2008 R2 用の 10G PCIe ネットワーク ドライバもインストールする必要があります。

#### 手順

- ステップ 1** ドライバを Cisco.com からダウンロードします。「[シスコからのソフトウェアの取得](#)」を参照してください。
- ステップ 2** ドライバ ファイルを USB フラッシュ ドライブにコピーします。
- ステップ 3** 使用する Microsoft Windows Server をインストールします。インストール プロセスの途中で、LSI ドライバを要求されます。
- ステップ 4** USB フラッシュ ドライブを E シリーズ サーバの USB スロットに差し込み、LSI ドライバをインストールします。
- ステップ 5** Microsoft Windows Server のインストールが完了したら、オンボード ネットワーク ドライバ (Broadcom) と Intel ドライバをインストールします。



## ホストイメージのマッピング解除

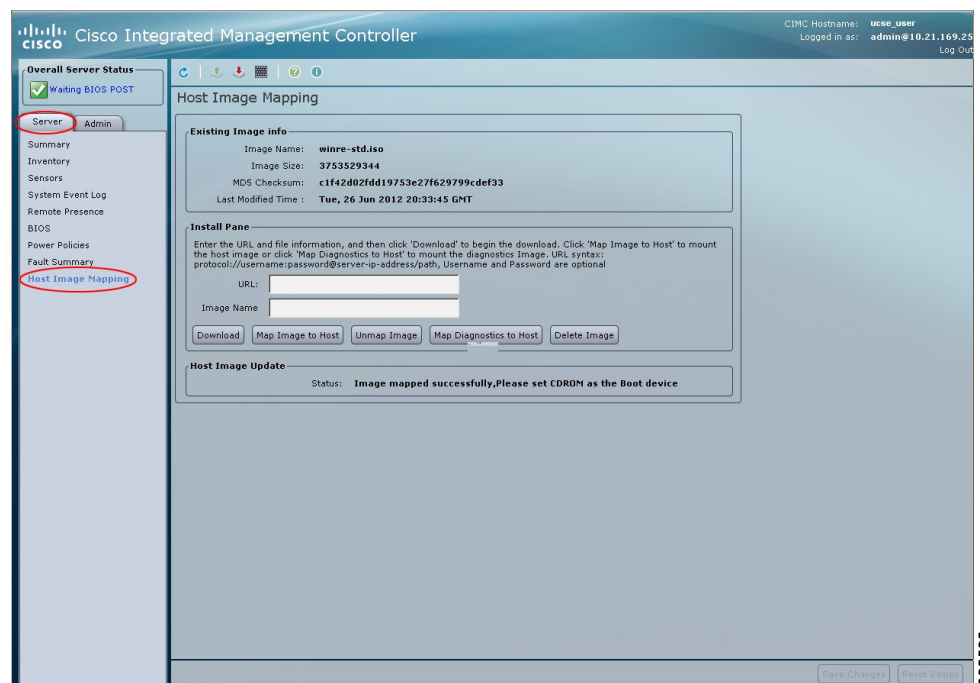
はじめる前に

- admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Host Image Mapping] をクリックします。

図 3 : Host Image Mapping



- ステップ 3 [Unmap Image] をクリックします。  
USB コントローラの仮想ドライブからイメージがアンマウントされます。

## ホストイメージの削除

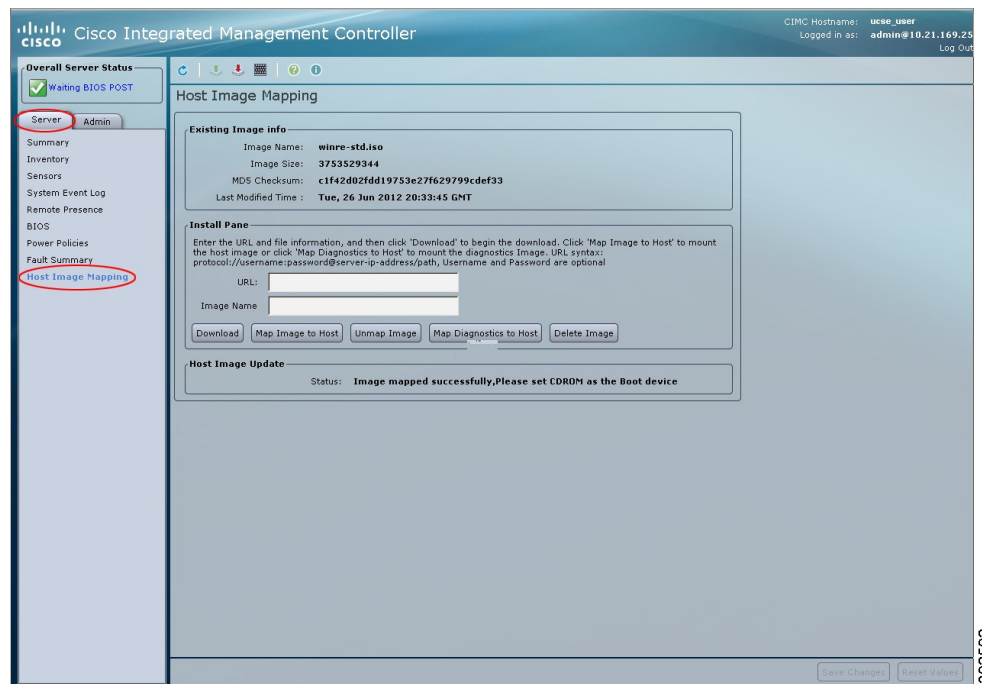
はじめる前に

- admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Host Image Mapping] をクリックします。

図 4 : Host Image Mapping



- ステップ 3 [Delete Image] をクリックします。  
イメージが SD カードから削除されます。
- (注) イメージが SD カードから削除された後、[Existing Image Information] 領域と [Host Image Update] 領域に表示されていた情報が消去されます。

# カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード

カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor™ イメージをダウンロードするには、次の手順を実行します。

## 手順

- 
- ステップ 1 <https://my.vmware.com/web/vmware/login> にアクセスします。  
VMware ログイン ページが表示されます。
  - ステップ 2 自分の VMware クレデンシャルを入力し、[Log In] をクリックします。  
VMware のアカウントがない場合は、[Register] をクリックして無料アカウントを作成します。
  - ステップ 3 [Support Requests] ペインの下で、[Knowledge Base] をクリックします。
  - ステップ 4 右上隅の [Search] フィールドに ESXi-5.0.0-623860-custom-Cisco-2.0.1.6.iso と入力し、[Search] をクリックします。
  - ステップ 5 [Search Results] から、[Download VMware View 5.1] をクリックして、カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor™ イメージをダウンロードします。
- 

## 次の作業

VMware vSphere Hypervisor™ イメージをインストールします。インストール手順については、「[ホスト イメージのマッピング](#)」を参照してください。

